



仲間と共に

学校目標 「めあてをもち 仲間と共に やりぬく心」

令和6年9月30日

一隅を照らす 此れ則ち国宝なり

校長 石田耕太郎

10月は、11日(金)前期終業式を行い、17日(木)後期始業式を行う年度の節目となる月です。開校60年目を迎え、「ふるさと三輪南大好き」の願いのもとに、現在各学年とも前期を締めくくる活動を行っており、そこでの成果と課題を後期につなげていきます。

この半年間も地域の方々の愛情を一杯に浴びて、子どもたちは成長しました。三輪南の地で生きていることを実感して生活していることが伝わってくる毎日でした。特に、「ふるさと大好き作品展」に出品された作品から、強く地域を愛する気持ちを感じました。

- ★いえのまえのおじぞうさんに まえかけをつくっちゃおう！
- ★こうくでみつけた わたしの いきものずかん ・三輪南の神社やお寺
- ★みわっこ じまん ガチャ ★三輪南野球少年団ユニフォームのちぎり絵
- ★三輪南クリーンプロジェクト～ごみからキレイな物に～ ★みなみっこちゃん
- ★三輪南の遊べる場所 ★三輪南で育ったわたしの家族 ★三輪南デンジャラスゾーン
- ★家のお前の地ぞうさんに画用紙の花をお供えしよう！ ★三輪南小学校のマークししゅう
- ★おかめちゃんに行く 三輪南おさんぽマップ ★私のふるさとのホテル
- ★福富の神社とお寺 ★三輪南地図パズル ★私が住む地域のステキな山
- ★ぼくらの学校60歳 ★三輪南 洪水の過去 ★ふるさと三輪南と太郎丸城
- ★だいが寺の仏様 ★ありがとうの花

今年度第7回となる「ふるさと大好き作品展」は、題材が三輪南地域に関するものであれば出品することができます。上記した作品は、地域の歴史や史跡をまとめたものや絵本で三輪南の良さを伝えるもの、最近の異常気象から水害に悩まされた過去を忘れず備えを促すものなど、多様なアプローチで「ふるさと三輪南」に対する愛が語られていました。子どもたちの「ふるさと三輪南」が大好きであること、「ふるさと三輪南」をもっともっと知りたいと願っていること、「ふるさと三輪南」の将来を真剣に考えていることが感じられるものでした。この一人一人の思いを感じ取った時、私は伝教大師最澄の記した「山家学生式」の一節「一隅を照らす 此れ即ち国宝なり」という言葉とつながりました。自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人こそ、何物にも代えがたい貴いふるさとの宝であると読んだとき、まさに「ふるさとの宝」である一隅を照らす子どもたちが育っており、その育ちはふるさと三輪南の地域の方々それぞれの「一隅を照らす」営みによるものだと。そう感じずにはいられませんでした。

「ふるさと大好き作品展」の作品展示と表彰式は、11月3日(日・文化の日)に開催される三輪南文化祭で行われます。ぜひ、会場にお越しいただき、子どもたちの「ふるさと三輪南大好き」という思いを感じていただけますと幸いに存じます。

